



2020年6月8日

「日本初、宅配に特化した小型商用EVトラックの導入」が 第21回物流環境大賞「日本物流記者会賞」を受賞

ヤマト運輸株式会社（本社：東京都中央区・代表取締役社長 栗栖 利蔵、以下ヤマト運輸）は、宅配に特化した日本初の小型商用EVによる環境負荷低減の取り組みが評価され、一般社団法人 日本物流団体連合会主催の第21回物流環境大賞において、「日本物流記者会賞」を受賞しましたのでお知らせいたします。

記

1. 物流環境大賞について

一般社団法人 日本物流団体連合会が主催し、物流部門において、優れた環境保全活動や環境啓蒙活動、あるいは先駆的な技術開発などを行なうことにより、環境負荷軽減の面から物流業の発展に貢献された団体・企業または個人を表彰する制度です。

2. 受賞内容

- (1) 審査結果：日本物流記者会賞
- (2) 功績事項：日本初、宅配に特化した小型商用EVトラックの導入
- (3) 概要：

ヤマトグループは「つなぐ、未来を届ける、グリーン物流」を環境ビジョンに掲げ、環境や生活、経済によりよい物流の実現を目指しています。

この環境ビジョンに基づきヤマト運輸は、宅配に特化した小型商用EVトラックを日本で初めて開発し、2020年2月から関東圏にて順次稼働させています。

本車両の導入によりCO₂排出量や大気汚染物質の削減、住宅街での騒音低減を進め、環境や生活により良い物流に貢献します。

3. 今後について

ヤマト運輸は2020年2月から、いすゞ自動車株式会社と協力しEVウォークスルートラックをモニター稼働するなど持続可能な物流に向け、EVトラックの導入を引き続き推進し、CO₂削減や大気汚染防止に貢献していきます。また環境ビジョンである「つなぐ、未来を届ける、グリーン物流」を体現するべく、最適な低炭素車両の開発と導入、再生エネルギー利用、スマートモビリティなど物流の最適化に向け取り組んでまいります。

以上